

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2022. 1



リコー (A3/カラー) RICOH P C6000L



コニカミノルタ (A3+/モノクロ) AccurioPrint 2100



中国・キヤノン (A3/カラー) iR C3130L



AP・富士フイルムBI (A4/カラー)
Apeos C5240 CPS-EX



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「その他情報」より抜粋

○事業撤退ー日本カーバイドー1

日本カーバイド工業（本社：東京都港区）は、12月24日、NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.（米国サウスカロライナ州）でのトナー樹脂事業から撤退すると発表した。

同社によれば、トナー樹脂市場では近年供給が需要を大きく上回る状況かつ海外メーカーとの競合が激

子・機能製品事業の構造減や諸経費の削減を進め

同社は、アフター市場・アクリル系レジメンラれていたが、米国の主国生産から撤退し、さらしたことで、近年の生産尚、販売終了時期は



(NIPPON CARBIDE)

「その他情報」より抜粋

■その他情報■

○チップレスカートリッジーキヤノンー1

世界的な半導体不足のおおりに受けて、キヤノンは複合機用のトナーカートリッジにおいて半導体チップを組み付けていない製品（チップレスカートリッジ、またはメモリストナー）の供給を始めると公表した（日本ではキヤノン MJ が 12月、海外では1月初旬に公表）。

影響を受ける機種は国や地域によって若干異なるが、A3カラーMFPの「iR-ADV C55xx シリーズ」や「同 DX C57xx シリーズ」、A3モノクロ MFPの「iR-ADV DX 47xx シリーズ」などメイン機種の多くで、全世界的に当面チップレスカートリッジが供給

同社は、チップが不足し、表示できないなど、トナー残量について、残量がなくなるとカートリッジを交換し、通じてこれらの問題

＜日本市場において＞
iR-ADV C330/C333
iR-ADV C3530/C353
iR-ADV C3530 II/C3
iR-ADV C3530F III/
iR-ADV DX C3730F/
iR-ADV DX C3835F/
iR-ADV C5560/C555
iR-ADV C5560F-R/C
iR-ADV C5560 II/C5
iR-ADV C5560F II/C
iR-ADV C5560F III/
iR-ADV DX C5760F/
iR-ADV C350F/C355
iR-ADV DX C357F
iR-ADV 4545/4535/4
iR-ADV 4545 II/453
iR-ADV 4545F II/45
iR-ADV 4545F III/4
iR-ADV DX 4745F/4
iR-ADV DX 6000
iR-ADV C3020F/C32

「新製品及び消耗品情報」 【アジア・パシフィック】＜オフィス向け＞より抜粋

【アジア・パシフィック (AP)】 ＜オフィス向け＞

Nーカラープリンター/MFP (A4)ーAPー富士フイルム B1ー1

商品名	ApeosPrint C5240/ Apeos C5240 CPS/C5240 CPS-EX
標準価格	日本円換算で約 51 万円/95 万円/95 万円
発売年月	2022 年 1 月
出力サイズ	A4
スピード	カラー・モノクロとも 52 枚/分(A4)
複合状況	コピー プリンタ FAX スキャナ
(※はオプション)	下表参照
目標販売台数 (AP, PRC)	(弊社推定) 1,500 台/年



Apeos C5240 CPS-EX

【位置付け】

新規	「ApeosPrint C5240」は 2019 年発売の「DocuPrint CP555 d/CP505 d」の後継機となる A4 カラープリンター。「Apeos C5240 CPS/C5240 CPS-EX」は ApeosPrint C5240 と同一エンジンを搭載した A4 カラー MFP。いずれの製品もカラー・モノクロとも 52ppm (A4) のハイエンド製品となる。MFP モデルではカラー 83ipm、モノクロ 104ipm の 1 ペース両面スキャナを装備し、最大 3,250 枚の給紙容量に対応。「Apeos C5240 CPS-EX」は、ステープラー機能付き排紙トレイ、4 段メールボックスのどちらかをオプション装着可能。A3 用紙が必要のないオフィスや A3MFP のサブ機、窓口サイドに設置可能なコンパクト複合機として、A4 ハイエンド市場の開拓が期待される。
◎後継	
その他	
OEM受	

【販売ターゲット】

ターゲット 一般オフィス、窓口業務

【製品ラインアップと競合機】

※はオプション

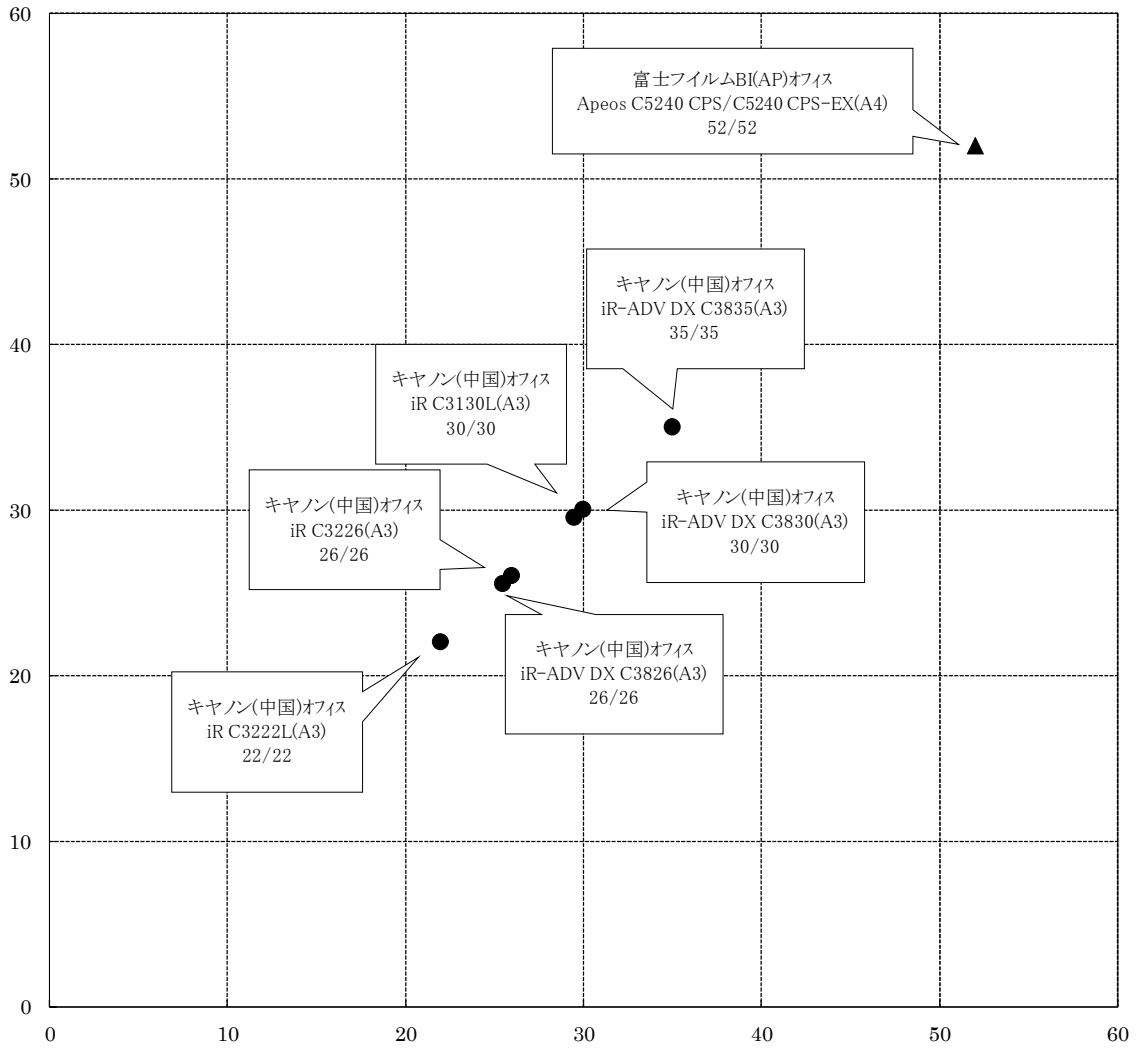
機種名	発売日	価格	出力 レター (枚/分)	解像度 (dpi)	メモリ (MB)	最大 給紙 容量 (枚)	ランコ スト (枚)	
ApeosPrint C5240	22.1	約 51 万円	C52/M52	1,200 × 2,400	4GB	3,250	n/a	
競合機	HP 「Color LaserJet Enterprise M653dn」	17.5	\$1,899	C56/M56	1,200 × 1,200	8GB	3,200	8.3
	Lexmark 「CS820de」	16.1	\$2,602	C57/M57	1,200 × 1,200	1GB	4,500	8.6
	Xerox 「VersaLink C600DN」	17.8	\$1,299	C53/M53	1,200 × 2,400	2GB	3,250	8.3

2022. 1 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

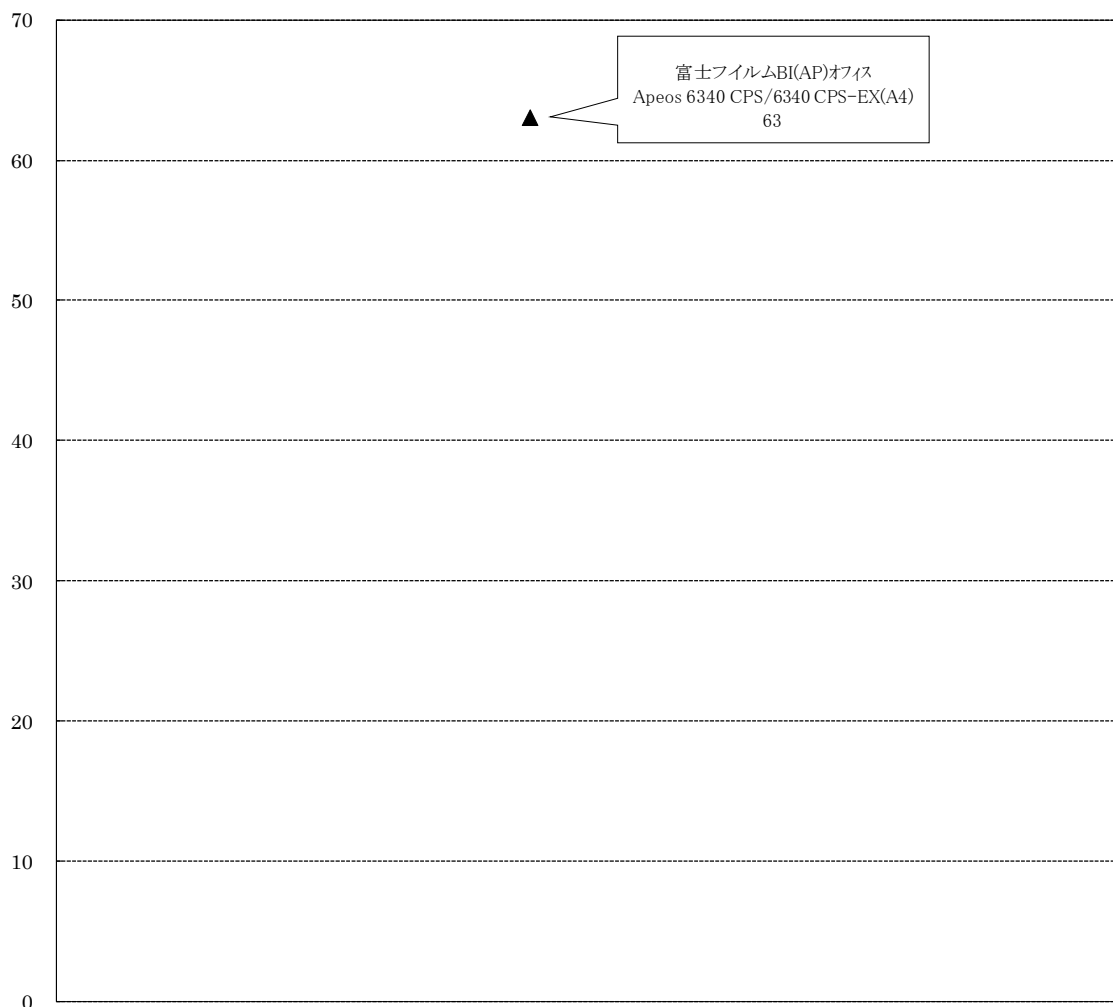
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

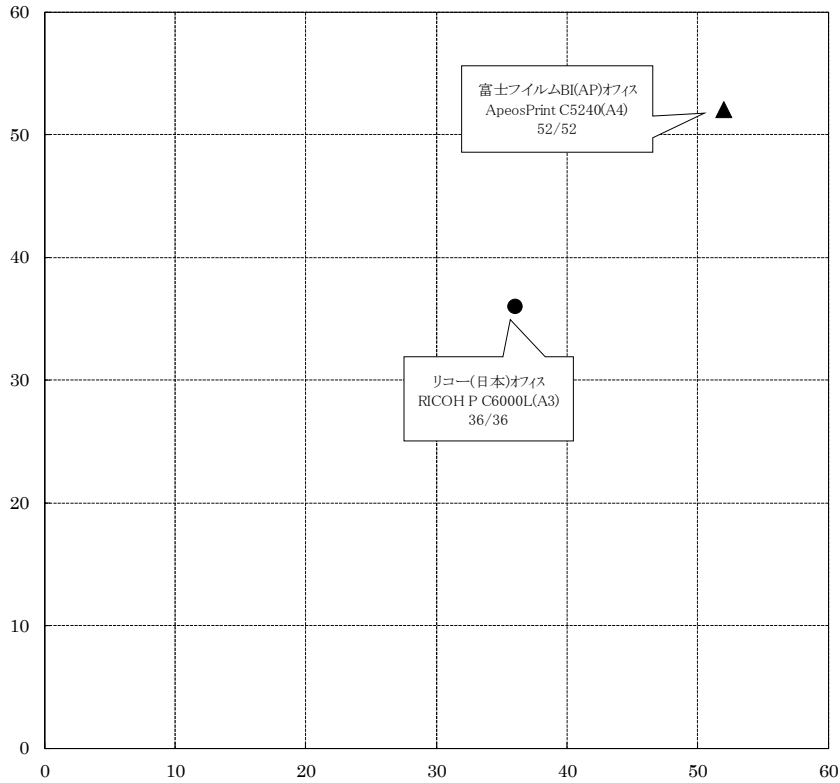
2. モノクロ MFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



3. カラープリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

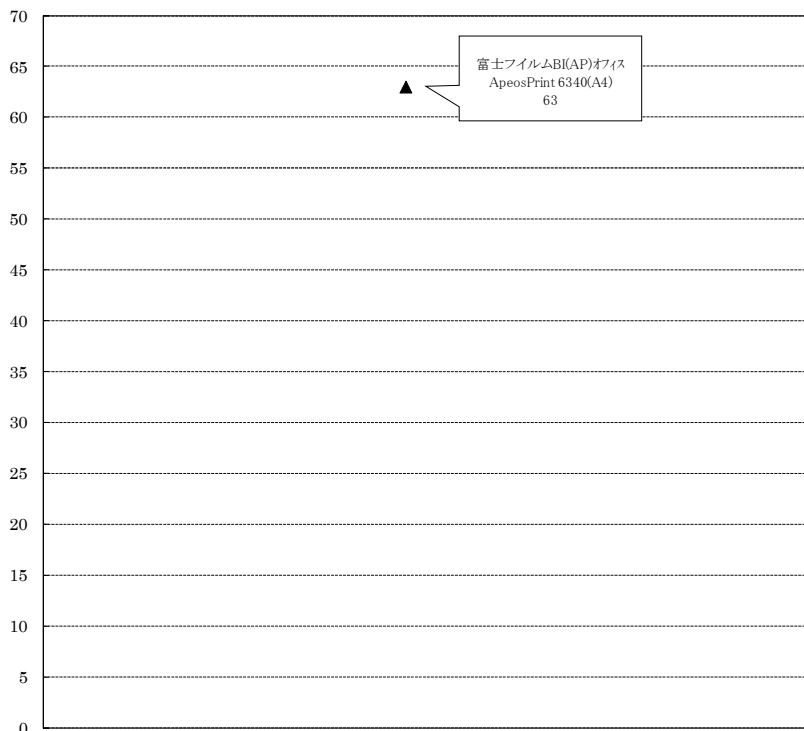
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

4. モノクロプリンタ/ファクシミリ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



5. モノクロプロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



2022年1月号目次

■ 特集 ■

特集1	レーザー／LEDプリンタの全世界出荷動向	1					
1.	全世界における出荷台数推移（2015～2024年）	2					
2.	地域別の出荷台数比率（2021年→2024年）	3					
3.	スピード別出荷台数（2021年）	4					
1)	モノクロ	2)	カラー				
4.	単能機と複合機の比率（2021年）	5					
5.	サイズ別出荷台数（2021年）	5					
6.	エンジンメーカーシェア（2021年→2024年）	6					
1)	全体	2)	モノクロ	3)	カラー		
7.	各社概要（2021年モノクロ・カラー別生産台数）	8					
1)	キヤノン	2)	ブラザー工業				
3)	HP Printing Korea	4)	PANTUM				
5)	京セラドキュメントソリューションズ	6)	Lexmark				
7)	リコー	8)	Deli	9)	富士フイルムビジネスイノベーション		
10)	Lenovo	11)	OKI	12)	CUMTENN	13)	Avision
14)	TOEC	15)	コニカミノルタ	16)	その他メーカー		
特集2	インクジェットヘッドの外販市場	17					
1.	ヘッド方式別出荷金額の推移（2018～2024年）	18					
2.	総出荷金額の市場別内訳（2020年）	19					
1)	ピエゾヘッド	2)	サーマルヘッド				
3.	方式別メーカーシェア（2020年）	20					
1)	ピエゾヘッド	2)	サーマルヘッド				
4.	市場別メーカーシェア（2020年）	21					
1)	サイン市場	2)	テキスタイル市場	3)	トランザクション市場		
4)	商業印刷市場	5)	ラベル&パッケージ市場				
6)	マーケティング&コーディング市場	7)	セラミックタイル&建材市場				
8)	その他						
5.	各社の概要	25					
5-1.	ピエゾヘッド	25					
5-2.	サーマルヘッド	28					

■ 実販情報 ■

F-カラーMF P (A3)	-キヤノン-1	30
(imageRUNNER ADVANCE DX C3830i 他)		
F-カラーMF P (A3)	-富士フイルムビジネスイノベーション-1	31
(PrimeLink C9065 他)		
F-カラーMF P (A3)	-コニカミノルタ-1	32
(bizhub PRO C754 他)		
F-カラーMF P (A3)	-リコー-1	33
(IM C3500 他)		

■ 新製品及び消耗品情報 ■

〔国内〕

<オフィス向け>		
N-カラープリンタ (A3)	-リコー-1	34
(RICOH P C6000L)		
<プロノ業務向け>		
N-モノクロプロダクシヨンプリンタ (A3+)	-コニカミノルタ-1	40
(AccurioPrint 2100)		

〔中国〕

<オフィス向け>		
N-カラーMF P (A3)	-中国・キヤノン-1	47
(imageRUNNER ADVANCE DX C3800 シリーズ)		
N-カラーMF P (A3)	-中国・キヤノン-2	49
(imageRUNNER C3130L/C3226/C3222L)		

〔アジア・パシフィック（AP）〕
＜オフィス向け＞

Nカラープリンタ/MFP（A4）－AP・富士フィルムBI－1	51
（Apeos Print C5240/Apeos C5240 CPS/C5240 CPS-EX）	
Nモノクロプリンタ/MFP（A4）－AP・富士フィルムBI－2	58
（Apeos Print 6340/Apeos 6340 CPS/6340 CPS-EX）	

■ 生産情報 ■

Pレーザープリンタ－Ninestar－1	65
（新工場建設プロジェクトの第1段階完了が1年間延期）	

■ その他情報 ■

○チップレスカートリッジ－キヤノン－1	66
（半導体チップを組み付けていないトナーカートリッジの供給開始）	
○中国子会社閉鎖－キヤノン－1	67
（中国広東省珠海市の子会社を閉鎖）	
○特許－キヤノン－1	68
（米国特許商標庁に登録された特許数が日本企業で第1位）	
○事業撤退－日本カーバイド－1	70
（NIPPON CARBIDE INDUSTRIES INC.でのトナー樹脂事業から撤退）	
○再生トナーカートリッジ－リスコビジネス－1	71
（東京地裁において破産手続開始が決定）	
○ブランド終了－コニカミノルタ－1	72
（Muratec Americaブランドの販売を2022年中に終了）	
○労働法違反－チャイナ・レイバー・ウォッチ－1	73
（中国のカートリッジメーカー2社の労働法違反を告発）	
○転換社債発行－Ninestar－1	76
（Ninestar Holdings Company Limitedが転換社債を発行）	
○事業売却－ハンツマン－1	77
（テキスタイル・エフェクツ部門の戦略的なレビューを開始）	
○M&A－ホイバツハ／クラリアント－1	78
（ホイバツハグループとSKキャピタルがクラリアントの色材事業買収を完了）	
○M&A－Nano Dimension／Global Inkjet Systems－1	79
（Nano DimensionがGlobal Inkjet Systemsを買収）	
○業界関連情報－各社－1	80
富士フィルムビジネスイノベーションがMicrosoft Dynamics 365を主力とした 基幹システム販売・導入支援サービスに新規参入／富士フィルムビジネスイノベ ーションが「Working Folderエビデンス管理オプション」の提供開始／富士フイ ルムビジネスイノベーションが「Marketing Cockpit」の提供開始／リコーが 「RICOH 証憑電子保存サービス」を提供開始／リコーが「RICOH BUSINESS BOOSTER」を国内展開／リコーがポルトガルのPamafeを買収／EFIがパッケ ーシング関連ソフトウェア事業を売却／ACM TechnologiesがRoyal Imaging Internationalを買収	

統計速報

統計全体のあらし	87
複写機統計（生産／受入の内訳／販売／月末在庫）	88
プリンタ統計（生産）	92
事務用機器輸出統計	93
（ネットワーク対応MFP／単機能機）	
事務用機器輸入統計	96
（ネットワーク対応MFP／単機能機）	

添付

2021年電子写真総合情報 年間目次

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥770,000(消費税込) 月会費 ¥66,000(消費税込)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2021.12	・複合機・プリンタ業界における2021年の振り返りと2022年の展望:本誌で取り上げた2021年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りながら、2022年の業界を展望する。
2021.11	・FESPA 2021:10月にオランダのアムステルダムでFESPA 2021(FESPA Global Print Expo 2021)が開催。同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。
2021.10	・Remax2021:展示会に出展したアフターメーカー、ハードウェアメーカー全115社(予定も含む)の最新情報(設立年、会社所在地、出荷数量他)をレポート。 ・OGBS2021:Tシャツプリントなどの「ガーマントプリンタ」にフォーカスし、インクジェット方式の機器を始め、アイメックスが開発したトナー扱いの機器等をレポート。
2021.9	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国プリンタ市場の最新動向:中国におけるプリンタ市場の最新動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2021.8	・MIF(MFPメーカーのMIFの状況):2020年の主要MFP(複写機・複合機)・プリンタメーカーのMIFの状況をレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2021年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2021.7	・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。
2021.6	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場の概観。 ・EUにおける酸化チタン規制と各社の対応:主要トナーメーカーの酸化チタン規制への対応状況を伝える。
2021.5	・ヘビープロダクションプリント市場の最新動向:同市場での印刷方式別の本体出荷動向やサイズ比率、メーカーシェアなどを概説。
2021.4	・感光体市場:ポストコロナにおける全世界の感光体市場を概観。
2021.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種種の販売台数を報告。
2021.2	・世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2021.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を特集。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を特集。
2020.12	・全世界における複写機・プリンタの稼働台数(MIF)推移:各社の複写機やプリンタの出荷台数と、それらがどの程度市場に滞留しているかを示す「市場残存率」をベースに、各社のMIFを算出。このMIF市場とトナー出荷量の情報を合わせて分析。
2020.11	・ソリューションビジネスの現状:複合機・プリンタメーカー各社のソリューションビジネスの現状を取り上げた。ソリューションビジネスの方向性を把握し、ビジネスへの影響を推し量ることが、各社のパフォーマンスを占う上で重要な要素となると思われる。
2020.10	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大が大きな影響を与えた、トナー市場の現状と今後を考察する。
2020.9	・複写機・プリンタ業界のOEM&提携関係と今後の業界再編:ポストコロナ時代に向けて大きく変化しつつある各社のOEM&提携戦略の現状を概観しつつ、各社が業界再編においてどのように参加していくかを、弊社独自の視点でまとめた。
2020.8	・APPPEXPO 2020:7月に中国・上海市の国家会展中心において開催された第28回上海国際広告技術設備展覧会(通称APPPEXPO)。サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示についてレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2020年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2020.7	・プロダクションプリンタ市場:プロダクションプリンタの出荷現状と、特色ある機種、トナー量などに焦点をあててレポート。 ・欧州における酸化チタン規制と各社の対応:欧州における酸化チタン規制の概要と主要トナーメーカーの最新対応状況を報告。
2020.6	・欧州におけるハードウェア市場動向:複写機・プリンタの一大マーケットである欧州におけるハードウェア市場動向を概説。欧州全体の最新市場動向やコロナショックによる最新予測シナリオ、主要国におけるメーカーシェアなども取り上げた。 ・決算:定複写機・プリンタメーカーの2019年度(キヤノンのみ2019年12月期)決算を概括。
2020.5	・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。
2020.4	・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。また、日本メーカーの動向も各社ごとにまとめた。
2020.3	・新型コロナウイルスの事務機業界への影響:事務機業界における中国への生産依存度や中国部材の依存度、また全世界の販売分布などを弊社の各レポートから報告。
2020.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向を取り上げた。全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2020.1	・中国市場:中国の最新市場動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2019.12	・ラベルエキスポヨーロッパ2019:9月24日(火)から27日(金)までの4日間、ベルギーのブリュッセルにおいて開催された、同展示会に出展された主要メーカーの展示動向をレポート。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（刊行日・価格の変更があります）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2022年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《定期刊行物》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月/年
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～	7/27～	英	
《2022年刊行予定物》						
* 2022年版[感光体マーケット総覧] 『基幹部品としての重要性を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25 予定	\$5,200	4/下予定	日 英	
* 2022年版[ローラー系部品マーケット総覧]	¥400,000	4/下予定	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2022年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	6/下予定	\$6,000	8/下予定	日 英	
* 2022年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/下予定	\$5,000	12/中予定	日 英	
* 2022年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) 総合分析編・PPC市場編/プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/下予定	— —	—		
《2021年刊行物》						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] (286頁) 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/26	日 英	
新レポート *2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282頁)	¥200,000	3/24	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧] (630頁) 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥400,000	4/22	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[トナーマーケット総覧] (572頁) 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥600,000	6/25	\$6,000	8/24	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (377頁) 『新たなイノベーション創出を目指す 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	10/26	\$5,000	12/10	日 英	
* 2021年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) (640頁) 『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』 総合分析編・PPC市場編/プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/22	— —	—		
《その他の刊行物》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		